

第3回庄内町立図書館協議会 会議録

開催日時 令和4年2月25日（金） 午後6時30分 開会
午後8時15分 閉会

開催場所 庄内町役場B棟2階 会議室2

出席者 出席委員6名 松田透、小野寺姫、三浦志保、奥山洋子、志田啓子、佐藤克則
欠席者 欠席委員1名 菅原昭治
事務局 社会教育課 課長 鶴巻勇
庄内町立図書館 館長 渡曾晃
庄内町立図書館 主査兼係長 佐藤晃子
庄内町立図書館 主事 長南千夏

議事日程

1 開会 以下進行事務局

2 あいさつ

小野寺委員長 連日、ウクライナとロシアの戦争が報道され大変ショックを受けている。世界中が平和のために令和までの日々を過ごしてきたが、こうも簡単に戦争という事実をたたきつけられると、子どもたちの心に大きな影響を与えてしまうのではないかと不安である。また今年度もコロナ過ということで、なかなか気持ちが進まなかった部分もあったと思う。ただ、ステイホームの流れのなかに図書館があって良かったと思っている方も多くいたと思う。本日も限られた時間ではあるが、よろしく願いしたい。

3 協議事項（座長：委員長）

- （1）令和3年度庄内町立図書館・内藤秀因水彩画記念館における事業総括について
《資料に基づき説明：事務局》

委員 現在の子どもたちは、二極化している。本の好きな子たちは図書館に足繁く通い、本を借りている。地域の方や親による読み聞かせ、読書まつり等によって、子どもたちが本に関わる機会も増えている。しかし、図書館に行かない子どもたちもまた増えている。ゲームに走り、本を手にする機会が少なくなっている子がいることも最近特に多いと感じる。

ゲームや動画サイトばかり見て、ニュースや新聞を見ないため、他にも様々な常識や知識があるにも関わらず、ゲームに関わった偏った情報にしか触れられていない。そういった姿を崩してやらないと、子どもたちの学びも非常に偏ったものになってしまう。図書館で推進している「家読」の取り組みのように、大人を巻き込み、危機感を持って本に触れていく仕掛けをしないとまらない。子どもやPTAに話をし、学校事業にも取り入れるべきと思った。

委員 図書館では庄内町の四偉人についてパスファインダーを作成しているという一方で、町のホームページを見ると、四偉人の中に佐藤幸徳氏は含まれておらず、町との温度差を感じたことがある。佐藤幸徳氏の扱いについて、子どもを含めた町民の方々にどう広げていくのか整理が必要である。

事務局 副読本には、佐藤幸徳氏は載っている。図書館としては、両方の方を知っていただきたい思いがある。町と教育委員会の偉人の捉え方が違っている点については、これから検討していかなければならないと思う。ただパスファインダーについては、四偉人で終わりということではなく、庄内町に業績を残した方については少しずつ作成し、多くの人へ広めていきたい。

(2) 令和4年度庄内町立図書館運営計画(案)について

(3) 令和4年度庄内町立図書館協議会年間計画(案)について

(4) 令和4年度庄内町内藤秀因水彩画記念館運営計画(案)について

《資料に基づき一括説明：事務局》

委員 「こどもとしょかんだより」について、来年度からは掲示だけでなく、全員に配付するというので、大変有難い。隔月であっても全員に渡るということが大きいと思う。全員に渡るということで、大人の目を引くような内容も取り入れて欲しいと思う。

委員 「こどもとしょかんだより」を全員に配付したことはあるのか。

事務局 子ども向けの「こどもとしょかんだより」については、全員配付したことはない。ただ、一般向けの「としょかんだより」にも児童書の内容については掲載してあるのだが、これについては希望のある園のみ、全保護者に配付をしている。

委員 全員に配るのであれば、「としょかんだより」の中に遊びを入れるのはどうか。

事務局 実は現在学校に配付している「こどもとしょかんだより」のなかにも合言葉を掲載し、それを図書館カウンターに持ってくることで景品がもらえる、という工夫をしている。しかし、掲示だけでは、思ったほどの反応がみられなかった。

委員 幼稚園であれば、親子で一緒に図書館へ行くことがありそうだがそれはどうか。

事務局　今の「こどもとしょかんだより」は、一人で来館できるような小学生を対象に作成している。親子で来館する幼稚園児を想定してのおたよりも今後の手立てのひとつとして前向きに考えていきたい。

委員　「うちどくガイド」についても全児童に配付するのはどうか。

事務局　「うちどくガイド」に関しては、全児童に配布をしている。ただし、「としょかんだより」、「こどもとしょかんだより」、「うちどくガイド」に加え、新たに「家読だより」の発行も目指していることから、情報過多になり、逆に必要な内容が伝わらなくなる心配もある。発行するものの精査や統合についても検討を進めたい。

委員　学校の図書コーディネーターとは、連携しているのか。

事務局　図書コーディネーターや事務補助等、窓口になってくださる方の力を借りながら学校との連携を進めている。

(5) 令和4年度庄内町教育委員会の重点と視座（案）について

《資料に基づき説明：事務局》

《詳細補足説明：社会教育課長》

4 その他

- ・「庄内町立図書館整備事業 図書館等整備工事の概要」について
《資料に基づき説明：事務局》
- ・新図書館の開館時間及び休館日について
《事務局説明》
- ・図書館長より報告

5 閉会